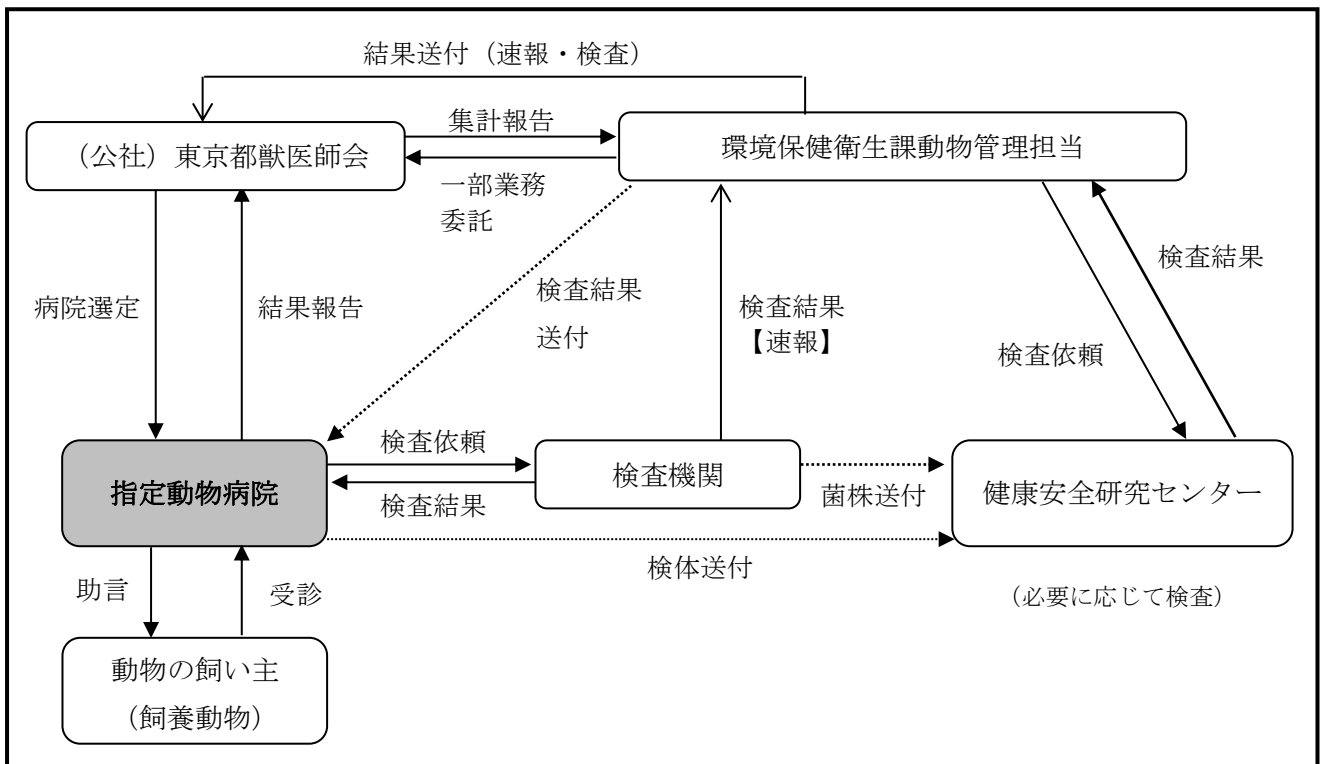


令和6年度 動物病院における動物由来感染症モニタリング事業計画

1 目的

動物由来感染症の動物での発生状況を把握するため、都内の動物病院における動物由来感染症の診断状況を集約し、動物由来感染症の人への感染を防止するための必要な措置を講じることを目的として本調査を実施する。

2 事業概要



1 モニタリング調査

【調査対象動物】 指定動物病院を受診した犬・猫

【実施期間】 令和6年4月から令和7年3月まで

【調査対象とする動物由来感染症】

犬	猫
皮膚糸状菌	皮膚糸状菌
疥癬	疥癬
回虫症	回虫症
コリネバクテリウム感染症	コリネバクテリウム感染症
犬ブルセラ症	トキソプラズマ症

【調査方法】 指定動物病院20病院における、月ごとの診察頭数及び調査項目に感染していると診断した頭数の報告を受ける。

2 サンプルング調査

【調査対象及び検体数】

(1) 大腸菌

指定動物病院のうち病原体定点6病院において、飼い主から了承を得られた犬及び猫の糞便各78検体（計156検体）

(2) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス

指定動物病院のうち病原体定点6病院において、飼い主から了承を得られた犬又は猫の口腔スワブ各病院3検体（計18検体）

【実施期間】

(1) 大腸菌

令和6年4月から令和7年3月まで

(2) SFTSウイルス

令和6年9月から令和6年11月まで

【調査対象とする病原体及び調査方法】

動物	検査項目	調査方法
犬・猫	腸管出血性大腸菌（EHEC） 薬剤耐性大腸菌	遺伝子検査法、 薬剤感受性検査法
犬・猫	SFTSウイルス	遺伝子検査法

【調査方法】

(1) 大腸菌

病原体定点病院から検査機関宛て、糞便検査を依頼する。検査機関において大腸菌が分離された場合は健康安全研究センターに菌株を送付し、検査を実施する。

(2) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス

病原体定点病院から健康安全研究センターに、口腔スワブ検体を送付し、検査を実施する。